

認定・専門看護師のWEBを活用した在宅支援

地方独立行政法人

岐阜県総合医療センター

○ 古田 明美

田中さとみ

全日本病院学会 利益相反(C O I)開示

筆頭発表者名：古田 明美

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

当院の概要

DPC特定病院群

病床数 620床

診療科数 40

専門外来 38

1日平均入院患者数 504.7人

平均在院日数 11.3日

病床稼働率 81.4%

平均外来患者数 1,388人

紹介率 71.9%

逆紹介率 110.5%

在宅復帰率 93.2%

(2021年度)



【重点医療】

救急医療（救命救急センター）

心血管疾患医療（心臓血管センター）

周産期医療（母とこども医療センター）

がん医療（がん医療センター）

こども医療（小児医療センター）

背景

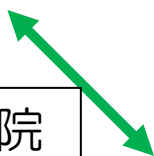


病棟看護師

退院前後訪問



合同カンファレンス



入院・通院



訪問看護師



在宅医

当院にいる専門・認定看護師が在宅療養している患者に
タイムリーに介入できるようにネットワークを構築

目的

患者が安心して在宅療養するために、当院の認定・専門看護師が、訪問看護師のコンサルテーションを受け、リモートを通じて現場の確認や患者・家族とコミュニケーションをしながら問題解決につながるよう連携する

目標

在宅療養中の患者に対し、訪問看護師と認定・専門看護師をリモートで繋ぎ、専門的看護の提供を行うシステムを構築する

方法

1. 期間：2021年6月～2022年2月
2. 対象：当院を外来通院し、在宅医や訪問看護師の訪問診療や看護を受けながら在宅療養している患者
3. システム構築のための協力者
 - ・地域の在宅医 2か所
 - ・訪問看護ステーション 2か所
4. 流れ
 - ・2021年5月 現状把握（訪問看護師対象のアンケート実施）
 - ・2021年6月 協力施設への主旨説明
（地域の在宅医及び訪問看護ステーション）
 - ・2021年7月～2月 手順作成、事例検討、リモートでの実施
7領域の認定看護師の訪問看護研修、システム構築についての意見交換

アンケート結果

n=90

1. 現状把握（80施設、90名から返答）

図1 ケアで困った経験

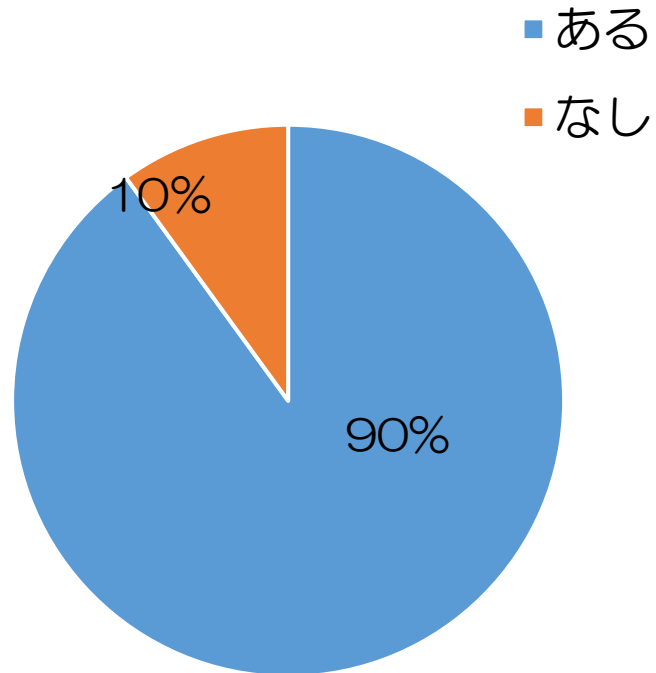


図2 困ったケア内容

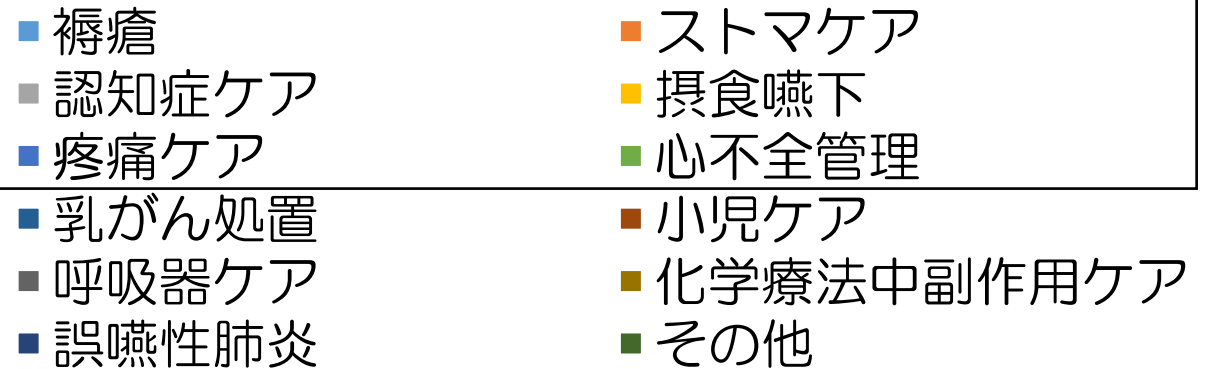
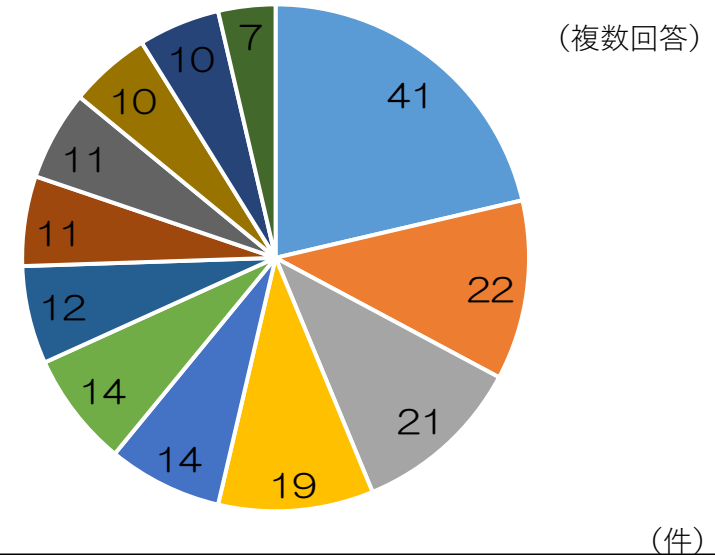


図4 困ったときの対策

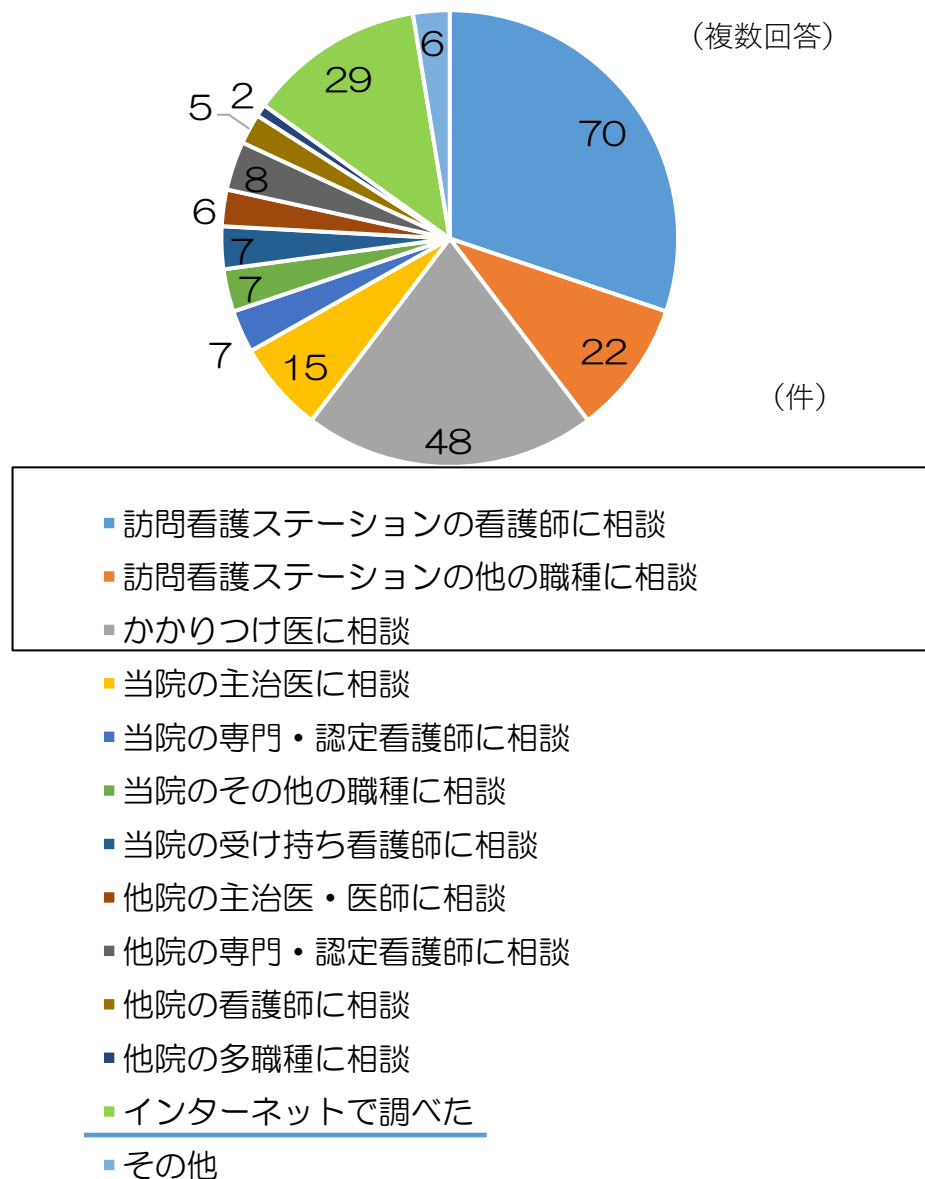
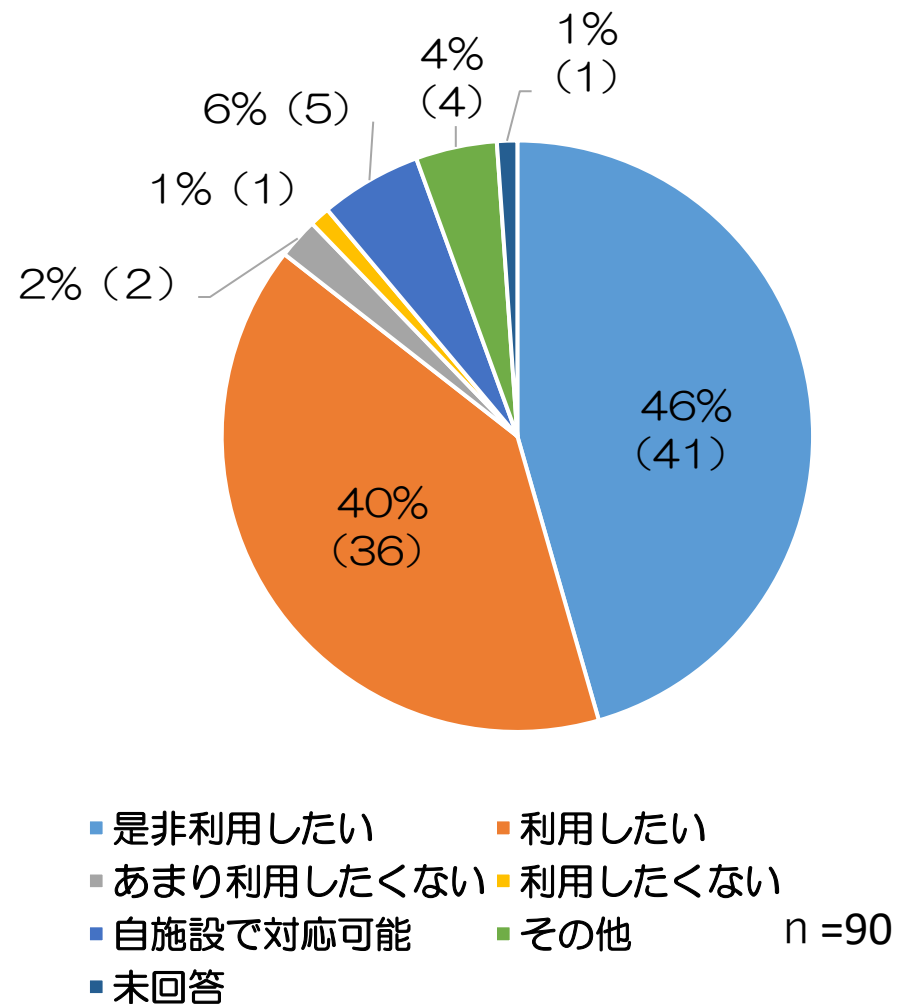


図5 当院の専門・認定看護師が相談対応することについて



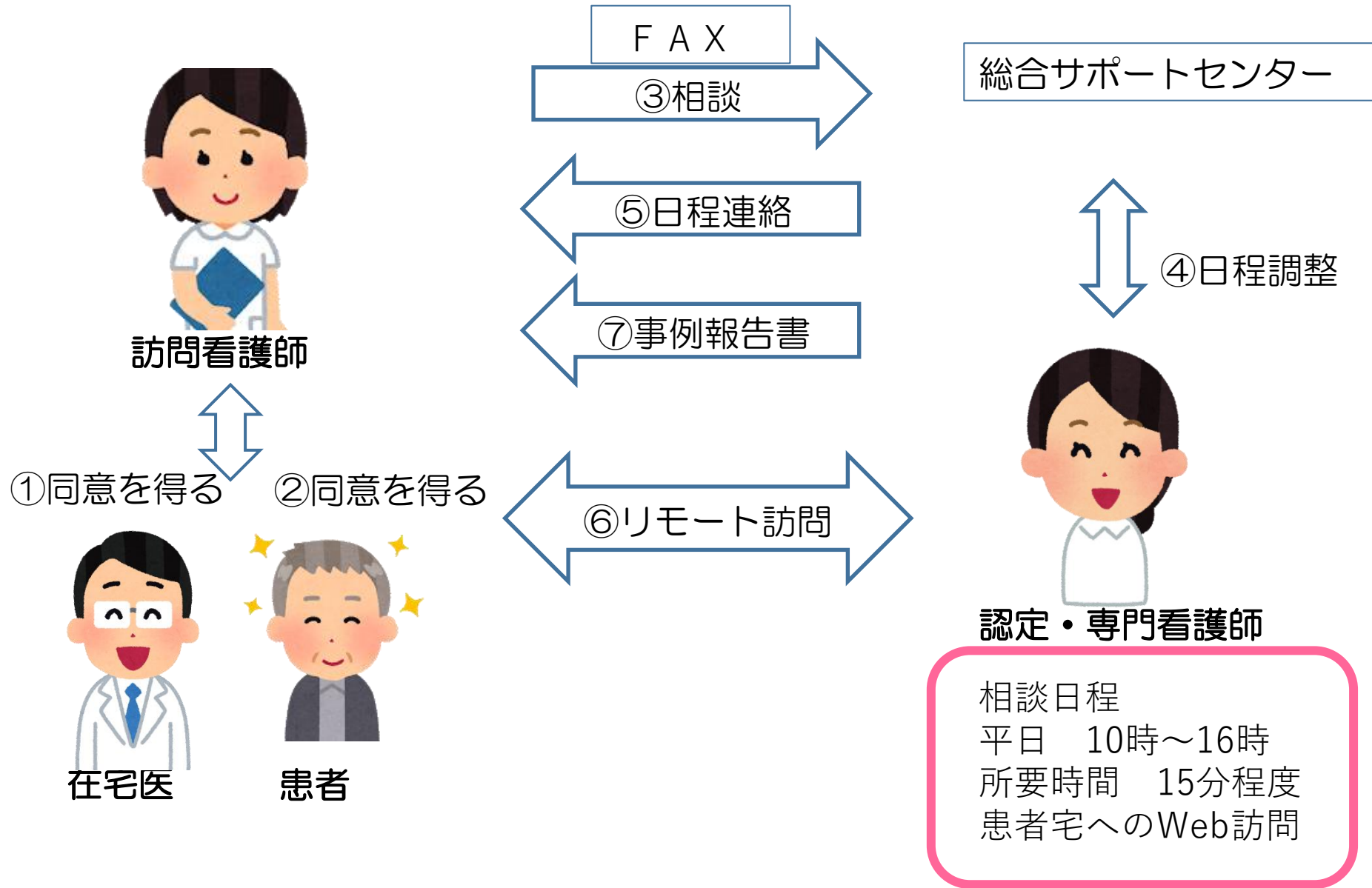
当院のスペシャリスト（在宅療養に関係する分野）

分野	人数	分野	人数
皮膚排泄ケア	3人	新生児集中ケア	1人
重症集中ケア	2人	がん化学療法看護	3人
がん性疼痛看護	2人	摂食・嚥下障害看護	1人
認知症ケア	2人	乳がん看護	1人
慢性心不全看護	1人	小児専門看護	2人

システム構築に向けての課題

在宅療養する患者の現状の理解ができていない

WEB訪問手順



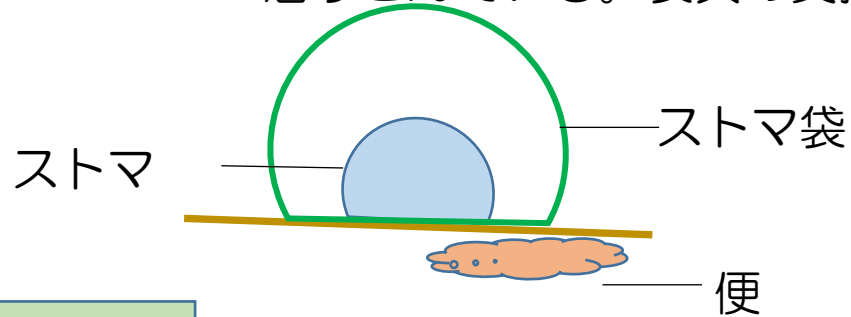
試行事例

ストーマケアの管理について（2事例）
下肢浮腫の管理について（1事例）

皮膚排泄ケア認定看護師

問題

ストーマの装具が外れることが多くなり、装具の間に便が潜りこんでいる。装具の交換が必要であるのか？



分析

- ガス抜きフィルターからガスが抜けすぎ袋が陰圧になっている
- 体重増加に伴う腹壁の形状変化
- ストーマの高さが低い

提案内容

- ガス抜きフィルタに蓋をして真空状態防止する
- 便の滑りを良好にするために潤滑油の使用。装具の変更。

地域包括支援モデル事業 事例展開用紙

資料 2

訪問看護ステーション名（ ） カルテ番号：
依頼日 令和3年 9 月 10 日

年齢	82 歳	性別	女性	疾患名	
活動状況	週 2 回のデイサービス利用 火曜日は訪問看護師にて装具交換 土曜日はデイサービスで本人が実施				
問題点					
8 月下旬より便の性状が普通便から粘度の高い軟便に変化。その頃より連続して装具がはがれることが続いている。ストーマサイズの縮小もあったため 30mm から 25mm にサイズ変更もするが、装具交換時には大量に便の潜り込みがある。便が潜り込むためか、ストーマ近接部に発赤を認める。					
依頼内容	10 月 11 月分の装具の注文時期が迫ってきており、現在の装具から変更が必要か、必要ならばどの装具に変更がいいか				
オンライン訪問日時	令和 3 年 9 月 21 日 16 : 30 ~ 17 : 00				
対応者	皮膚・排泄ケア認定看護師				
課題分析	・ 便の潜り込みに関してはガス抜きフィルターからガスが抜けすぎ、ストーマ袋が真空状態となり便が袋内に落ちていかないことが原因の一つ				

検討課題及び対策・実施

課 題	対 策
通信方法に時間を要して効果的なり モート訪問ができない	オンラインの方法を変更し、訪問時間 を利用して対応できた
訪問看護師と当院の看護師の共通の観 察スケールがないと問題への理解に時 間を要する	観察スケールを使用できるように整備 した ・褥瘡 スキンケア ・疼痛スケール ・化学療法副作用項目 ・認知症評価表 ・摂食嚥下質問表 とろみ表 ・ブリストルスケール
認定・専門看護師の対応後の記録の整 備	患者の相談内容の分析と、解決策の提 供を記録内容とした。

今後の予定

1. 相談事例を重ね、実績を積む
2. ネットワークシステムの評価・修正
3. 患者の在宅療養の質向上につながっているか評価する
4. 連携施設の拡大を図る

事業の可能性

○訪問看護師と連携することで、在宅療養の継続に効果的である。

○遠くの居住地に関しても専門的看護の提供が可能になる。